

## 円の接線の公式

1. 円  $x^2 + y^2 = r^2$  上の点  $A(x_1, y_1)$  における接線の方程式は  $x_1x + y_1y = r^2$

証明

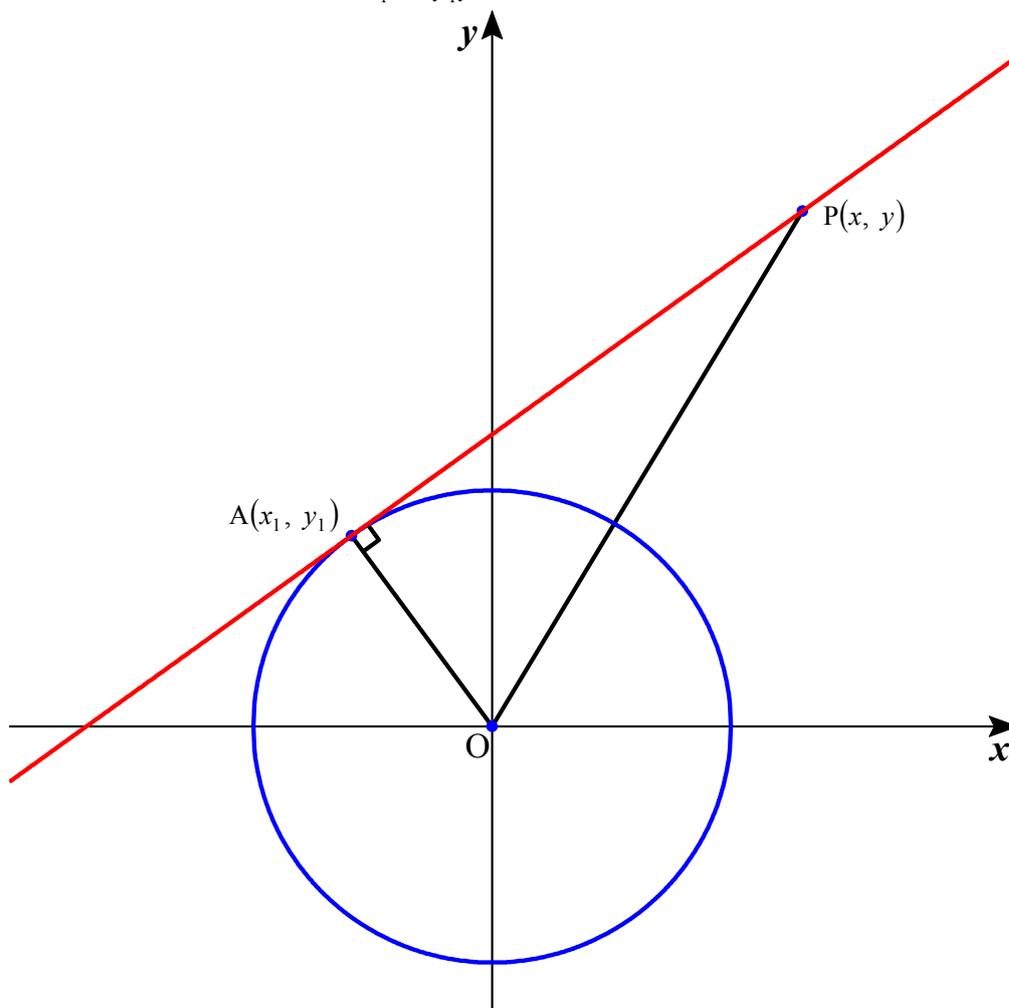
$x^2 + y^2 = r^2$  の中心を  $O$ , 円周上の点  $A(x_1, y_1)$  における接線を  $l$ ,  $l$  上の  $A$  でない任意の点を  $P(x, y)$  とすると, 三角形  $OAP$  は  $\angle A = 90^\circ$ ,  $OP$  を斜辺とする直角三角形だから, 三平方の定理より,  $OP^2 = OA^2 + AP^2$

$$\begin{aligned}\therefore x^2 + y^2 &= OA^2 + (x - x_1)^2 + (y - y_1)^2 \\ &= r^2 + x^2 - 2x_1x + x_1^2 + y^2 - 2y_1y + y_1^2 \\ &= x^2 + y^2 + r^2 + (x_1^2 + y_1^2) - 2(x_1x + y_1y) \\ &= x^2 + y^2 + r^2 + r^2 - 2(x_1x + y_1y) \\ &= x^2 + y^2 + 2\{r^2 - (x_1x + y_1y)\}\end{aligned}$$

$$\therefore x_1x + y_1y = r^2$$

これは  $A(x_1, y_1)$  についても成り立つ。

ゆえに, 接線  $l$  の方程式は  $x_1x + y_1y = r^2$



2. 円  $(x-a)^2 + (y-b)^2 = r^2$  上の点  $(x_1, y_1)$  における接線の方程式は

$$(x_1 - a)(x - a) + (y_1 - b)(y - b) = r^2$$

証明

$x^2 + y^2 = r^2$  上の点  $(x_1', y_1')$  における接線の方程式は  $x_1'x + y_1'y = r^2$

$x^2 + y^2 = r^2$  上の点を  $x$  軸方向に  $a$ ,  $y$  軸方向に  $b$  平行移動して点を  $(X, Y)$  すると,

$X = x + a, Y = y + b$  より,  $x = X - a, y = Y - b$

これを  $x^2 + y^2 = r^2$  に代入することにより,  $(X - a)^2 + (Y - b)^2 = r^2$

$(X, Y)$  も  $xy$  座標平面上の点だから, これを  $(x, y)$  に書き直すことにより,

$x^2 + y^2 = r^2$  を  $x$  軸方向に  $a$ ,  $y$  軸方向に  $b$  平行移動した円の方程式は

$$(x - a)^2 + (y - b)^2 = r^2 \quad \dots \textcircled{1}$$

$x_1'x + y_1'y = r^2$  上の点を  $x$  軸方向に  $a$ ,  $y$  軸方向に  $b$  平行移動した点を  $(X', Y')$ ,

このとき接点  $(x_1', y_1')$  は  $(x - a)^2 + (y - b)^2 = r^2$  上の点  $(x_1, y_1)$  に移動したとすると,

$X' = x + a, Y' = y + b$  より,  $x = X' - a, y = Y' - b$

$x_1 = x_1' + a, y_1 = y_1' + b$  より,  $x_1' = x_1 - a, y_1' = y_1 - b$

これを  $x_1'x + y_1'y = r^2$  に代入することにより,  $(x_1 - a)(X' - a) + (y_1 - b)(Y' - b) = r^2$

$(X', Y')$  を  $(x, y)$  に書き直すことにより,

$x_1'x + y_1'y = r^2$  を  $x$  軸方向に  $a$ ,  $y$  軸方向に  $b$  平行移動した接線の方程式は

$$(x_1 - a)(x - a)^2 + (y_1 - b)(y - b)^2 = r^2 \quad \dots \textcircled{2}$$

①, ②より,  $(x - a)^2 + (y - b)^2 = r^2$  上の点  $(x_1, y_1)$  における接線の方程式は

$$(x_1 - a)(x - a)^2 + (y_1 - b)(y - b)^2 = r^2$$